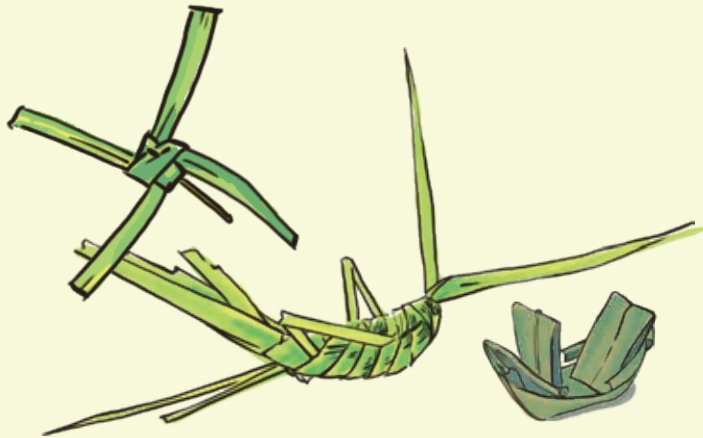


綾道

あやんつ

自然・植物編
しぜん・しょくぶつへん



綾道

あやんつ

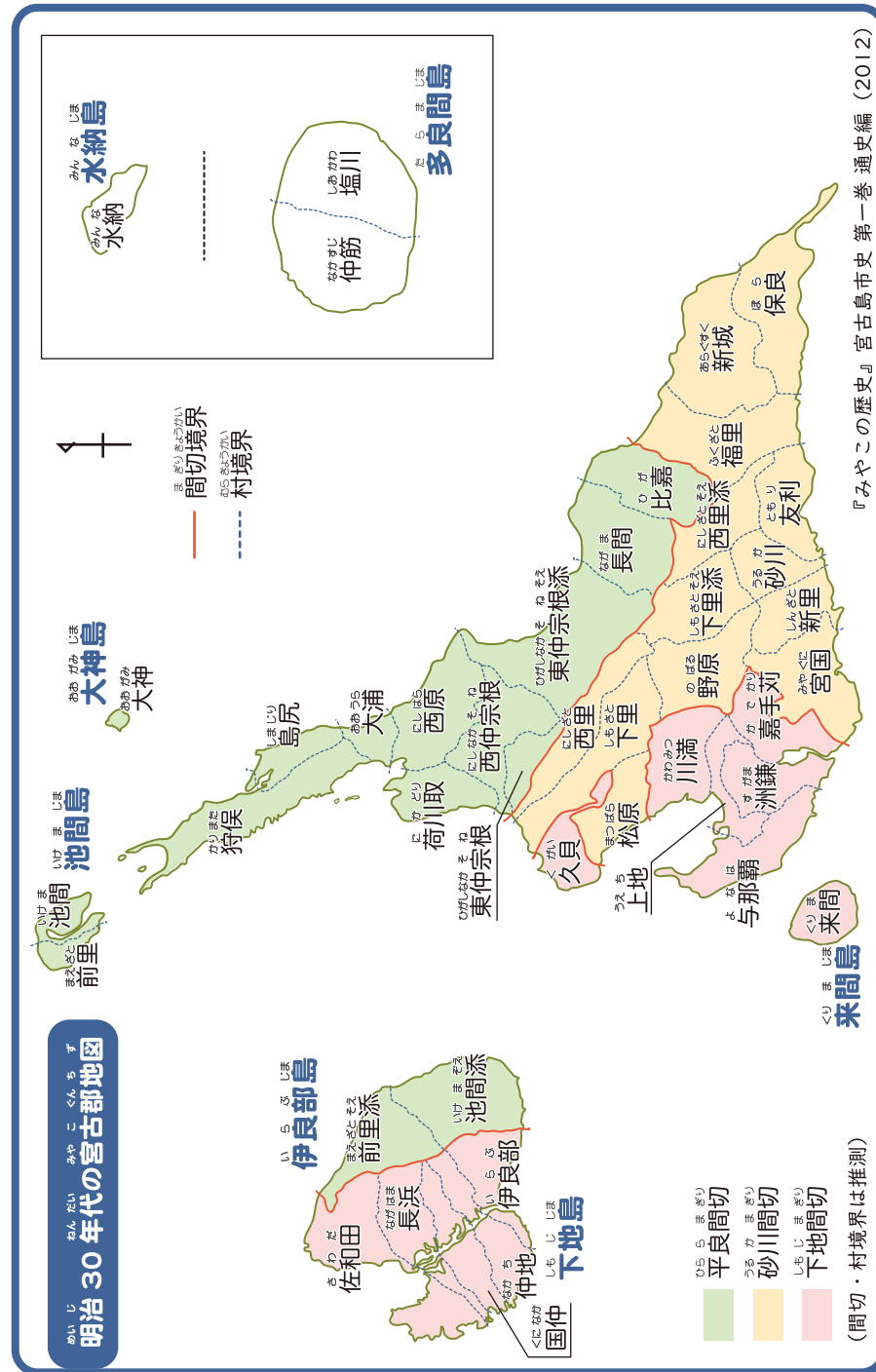
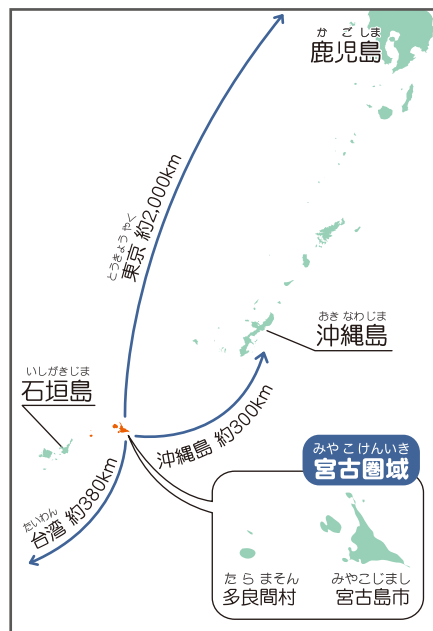
おもむき みち みやこ
「趣のある道」のことを、宮古のことばで「あやんつ」といいます

宮古島の位置と面積

宮古島市は大小6つの島(宮古島、池間島、大神島、来間島、伊良部島、下地島)で構成されています。

総面積は204平方キロメートル、人口約5万6,000人で、人口の大部分は平良地区に集中しています。

島全体がほぼ平坦で、山岳部や大きな河川もなく、生活用水などのほとんどを地下水に頼っています。

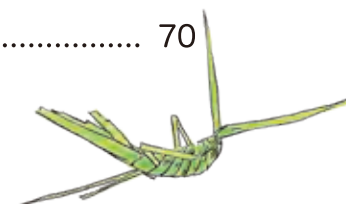




宮古諸島の植物と自然のなりたち.....	06
環境ごとの観察コース.....	08
まちなかでよく見る 花・実ごよみ.....	10
宮古の代表的な植生.....	12
前浜散策コース(砂浜).....	14
砂浜の環境で見られる植物.....	16
用語集・植物の見分け方のコツ.....	19
来間島散策コース(海岸林).....	20
海岸林の環境で見られる植物.....	22
東平安名崎散策コース(岩礁・風衝地).....	24
岩礁の環境で見られる植物.....	26
人との関わり ススキ.....	28
人との関わり ソテツ.....	29
人との関わり アダン.....	30
島尻散策コース(塩湿地).....	32
マングローブの見分け方.....	34
島尻マングローブと池原干潟(与那覇湾)のいまむかし.....	35
池間湿原散策コース(陸水).....	36
陸水の環境で見られる植物.....	38
池間島いまむかし.....	39



環境を変えてしまう外来種.....	40
大野山林散策コース(森林).....	42
森林の環境で見られる植物.....	44
つる植物はおもしろい！.....	48
菌類・淡水藻類・コケ類.....	49
県内最大の熱帯植物園.....	50
森をまもる、「そで」と「マント」.....	52
厳しく管理された杣山.....	53
牧山散策コース(森林・御嶽林).....	54
祭祀と植物.....	56
祭祀に使われる植物.....	58
ブーとブーギ.....	59
宮古の固有種、希少種.....	60
“ミヤコ”とつく植物.....	63
人里、耕作地、草地の植物.....	64
歌や民話と植物.....	68
遊びと植物.....	69
文化財の体系図・一例.....	70

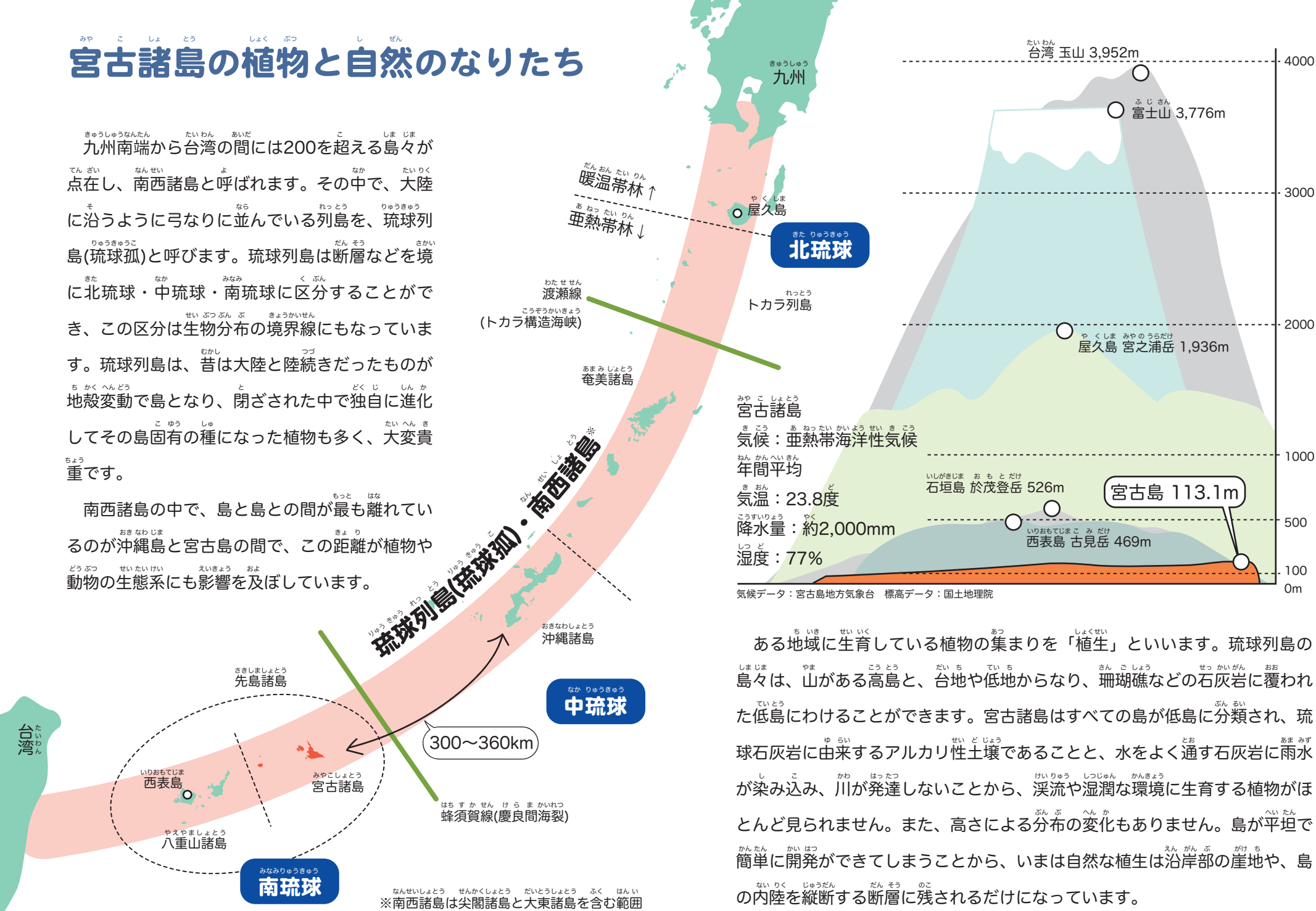


※御嶽は祭祀などを行う大切な場所です。神聖な場所なので入らないようにしましょう。

宮古諸島の植物と自然のなりたち

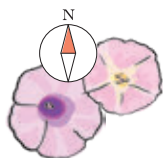
九州南端から台湾の間には200を超える島々が点在し、南西諸島と呼ばれます。その中で、大陸に沿うように弓なりに並んでいる列島を、琉球列島(琉球孤)と呼びます。琉球列島は断層などを境に北琉球・中琉球・南琉球に区分することができ、この区分は生物分布の境界線にもなっています。琉球列島は、昔は大陸と陸続きだったものが地殻変動で島となり、閉ざされた中で独自に進化してその島固有の種になった植物も多く、大変貴重です。

南西諸島の中で、島と島との間が最も離れているのが沖縄島と宮古島の間で、この距離が植物や動物の生態系にも影響を及ぼしています。



ある地域に生育している植物の集まりを「植生」といいます。琉球列島の島々は、山がある高島と、台地や低地からなり、珊瑚礁などの石灰岩に覆われた低島にわけることができます。宮古諸島はすべての島が低島に分類され、琉球石灰岩に由来するアルカリ性土壌であることと、水をよく通す石灰岩に雨水が染み込み、川が発達しないことから、溪流や湿潤な環境に生育する植物がほとんど見られません。また、高さによる分布の変化もありません。島が平坦で簡単に開発ができてしまうことから、いまは自然な植生は沿岸部の崖地や、島の内陸を縦断する断層に残されるだけになっています。

環境ごとの観察コース



陸水 池間島 p36

塩湿地 島尻マングローブ p32

伊良部島

下地島空港

リュウキュウマツ
90号線

p43

下地島

森林・御嶽林 牧山 p54

マニラヤシとヤエヤマヤシ
243号線 宮古空港前

砂浜 前浜 p14

海岸林 来間島断崖 p20

池間島

大神島

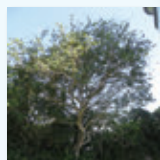
リュウキュウ
チシャノキ
p61



ソテツ p30
83号線



サキシマエノキ
p60



森林 大野山林 p42

モモタマナ
旧194号線



宮古島

テリハボク p64
国道390号線



ハスノハギリ林
新城海岸



p23

ハスノハギリの大木
p23

岩礁・風衝地 東平安名崎 p24

お気に入りの風景を探してみましょう！



フクギ p64

島内には様々な樹木が街路樹や屋敷林として植えられています。あなたのお気に入りの風景を探してみてください。

本文の見方

宮古の方言名

植物の写真

植物名

植物の特徴と宮古での利用例など(地域によって異なる)

※方言名は一般的な呼び方を記載。地域によって異なる。読み表記は宮古島市『みやこの自然と人』に準ずる。

外 = 外来種

帰 = 帰化植物



まちなかでよく見る 花・実ごよみ

四季の変化がさほど大きくない宮古でも、季節によって色々な花々が咲き、実がなります。1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたものを二十四節気と言ひ、旧暦では季節を表すために用いられていました。宮古の漁業や農業、祭祀は、いまでもこの暦に沿って行われています。



トックリキワタ...p42

色のついた部分は花びらではなく、がくの変形した苞。花は中心の白い部分。



ブーゲンビレア



サンダンカ



マンジュギー



サトウキビ...p59



ホウオウボク



マンゴー



カンヒザクラ



ソバ



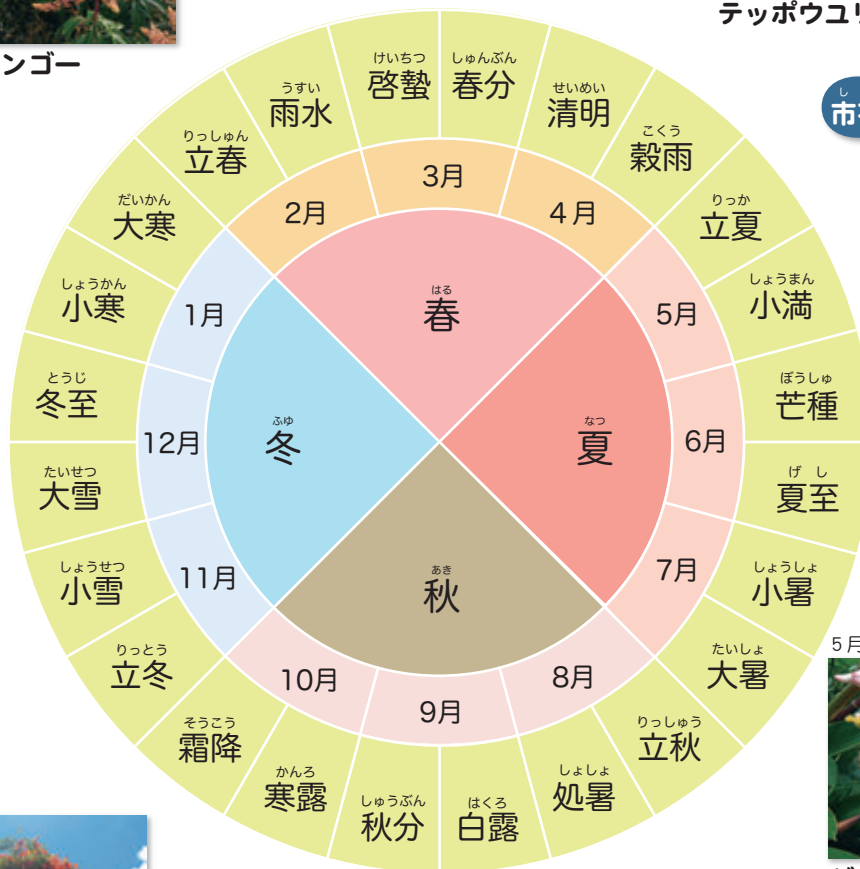
テッポウユリ...p24



カエンボク



ガジュマル



デイゴ

ドウフウキギー



バナナ



ゲットウ...p46



ドラゴンフルーツ



ブッソウゲ (ハイビスカス)



ドラゴンフルーツ



アダムギー



ゴールデンシャワー



マンゴー



サガリバナ...p38

宮古の代表的な植生

島全体が低く、琉球石灰岩でおお

われる宮古諸島は、植物にとっては塩分や潮風、乾燥、高熱、紫外線などの影響を受けやすく、生育するには過酷な環境です。

海岸域の環境は、岩礁、砂浜、塩湿地に分けることができます。海からの距離によって環境が変わるため、海岸沿いは草本類を中心とした植生が帯状に分布しています。

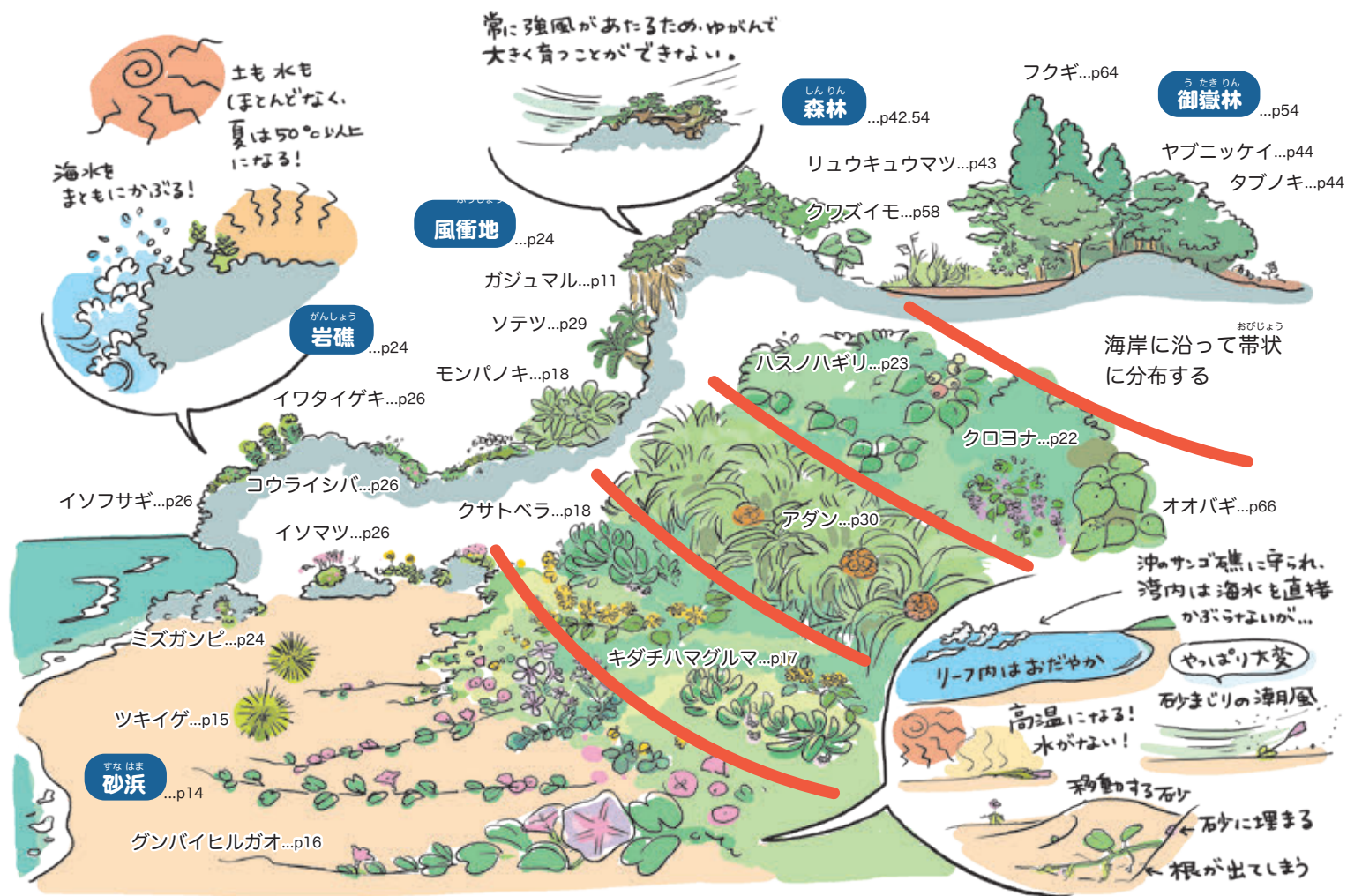
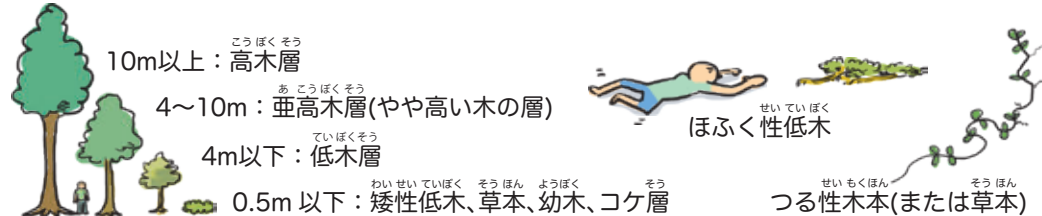
海岸域から陸側に入っていくと、徐々に低木林、高木林と植生が変わっていきます。宮古諸島は亜熱帯性照葉樹林域に位置し、石灰岩地のアルカリ性土壌に生えるタブノキやヤブニッケイ、ガジュマルなどの様々な木々が混在します。

また島の拝所である御嶽の周辺は、祭祀以外に立ち入りや伐採が禁じられていることから、島本来の植生が多く残っています。

照葉樹とは？



つやつやした
光沢のある葉を
持つ樹木のこと



海岸域の植物のくふう

小さくなる



風に強く不安定な場所でも育つ

多肉化する



水を保つ

木のような肌になる



海水や熱に耐える

丈夫な膜や細かい毛をまとう



海水をはじく

塩腺や塩嚢をもつ



余分な塩分を出す

空洞化や厚い殻の種子



塩に強く海に浮かぶ

前浜散策コース(砂浜)

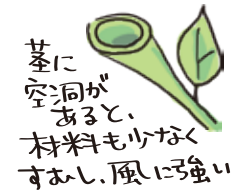
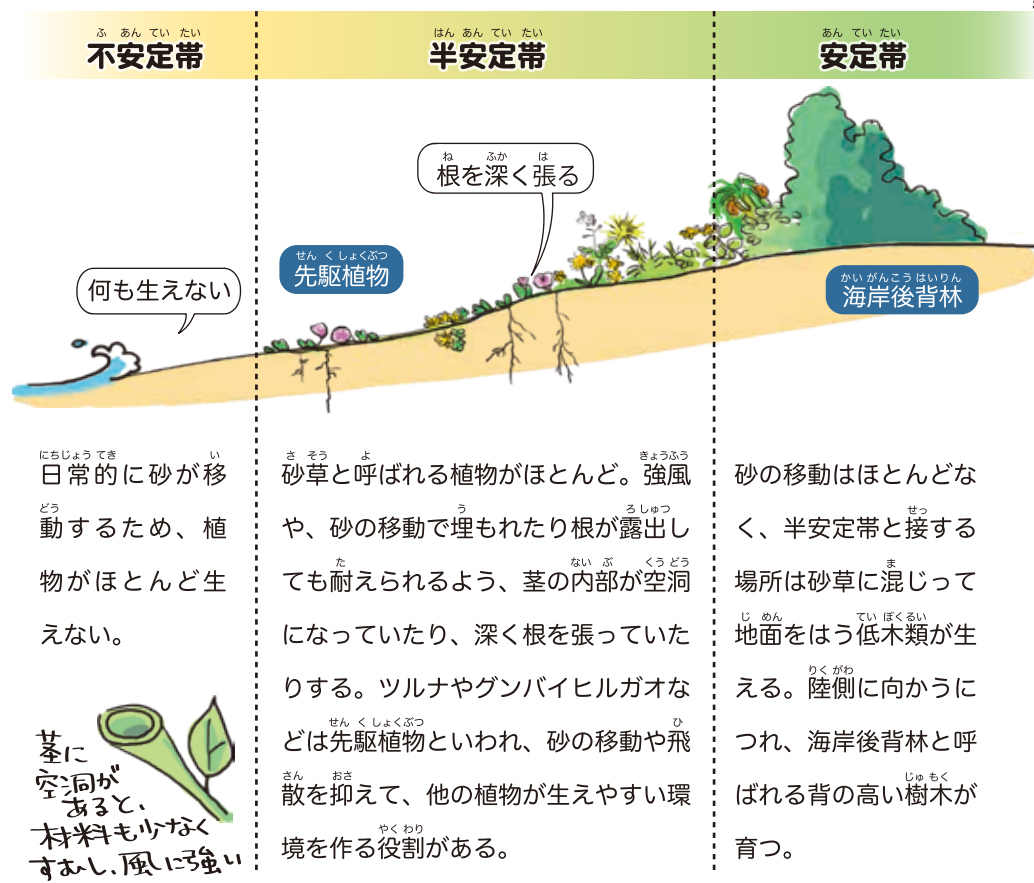
距離: 2 km 所要時間: 徒歩25分



ツキイゲ
カキマール
多年生草本。茎や葉は硬く、雌株の穂が熟すと風に吹かれながらコロコロ転がって種を落とす。イネ科では珍しい雌雄異株。

砂浜の環境

砂浜は、海に近いところから3つの地帯に区別できます。



砂浜の環境で見られる植物

パマカツア



グンバイヒルガオ

つる性多年草。砂浜の前線に群生し、砂の移動を防ぐ。葉の形が軍配に似る。



中央が濃い ハート形
ソコベニヒルガオ



中央が白い 小さい葉
ハマヒルガオ



紅芋も
七いれがオネ斗

パマキャン



ハマゴウ



らくようしょうていぼく 落葉小低木。茎でカゴを作った。白い花が咲くシロバナハマゴウは、東平安名崎のみで見られる。

シロバナハマゴウ

パラプニ



ハマダイコン

2年生草本。ダイコンが野生化。葉を和え物にして食べた。

ニーナス



スナヅル



じょうりよく 常緑つる性草本。葉は退化しており、茎に吸盤(寄生根)がある。色々な植物に巻きついて一面を覆う。昔は漆喰の粘りを出すのに使ったり、じゃり道にスナヅルを敷いて、汁の粘りで道を固めた。首里城の飲会門に行く歩道の隅に、スナヅルで固めた戦前の歩道が残っている。外来種のアメリカナシカズラは内陸に生える。



飲会門付近の歩道



アメリカネナシカズラ



ハマアズキ
(ハマササゲ)

つる性多年草。小豆に似た種子をつくる。ウラナミシジミの食草。

海を渡る種たち

かいりゅうさんぶ 海流散布



浮かべてみよう!



まだまだあるよ!

ンギョー



キダチハマグルマ

つる性多年草。他の植物に寄りかかっている。農作物を束ねたり綱引きなどに使った。よく似たアメリカハマグルマの方が繁殖力が強く、広範囲に見られるが、本種の方が葉が広いので見分けることができる。



アメリカハマグルマ

ビーング



ハマオモト
(ハマユウ)

多年生草本。枯れにくく、土地の境界や、屋敷の四隅に植えて魔除けとして使用。葉をおできに貼ったりもした。

ピンザヌマイ



ハマボウス

2年生草本。春先にピンクの花を咲かせる。ヤギのエサとして使った地域では「ピンザヌマイ(ヤギの米)」と呼ばれていた。